勝山市立成器南小学校 ふるさと勝山の魅力発見・発信!

④取組をCMにして発信

・映像クリエイターからノウハウを学ぶ

「ホンモノから学ぶ」姿勢を大切にしながらESDの活動を展開 校区の雪室の良さを知り、商品化することで地域活性化を図った6学年の取組



アドバイスをもとに最終調整

学校名 勝山市立成器南小学校 校長名 有島 文枝

1. 推薦理由

持続可能な社会の担い手を育む ESD の推進を、「ふるさと勝山の魅力を発見・発信」をテーマとして、NIE を発信の一つの手段として活動を展開している。その活動の展開において、常に「ホンモノから学ぶ」姿勢を大切にして、行政や、企業とつながり、活動を展開してきた。その過程で発見した魅力を、プロから学んだことを生かしながら周囲に発信していくことで、周りの反響も大きく、児童の活動に理解を示し、応援されることを感じることで児童のふるさと愛を高めることにつながっており、自分の言葉でふるさとの魅力を発信できる児童が増えている。また、これらの取り組みが評価され、第14回ESD大賞の最高賞である文部科学大臣賞を受賞した。

2. 活動内容 テーマ「 ふるさと勝山の魅力発見・発信!

対象学年:6年生 児童46名 5年生 児童44名

ふるさとの魅力を、自信を持って言えない児童が多かった。そこで、市の方に校区にある雪室を紹介していただいた。雪を保存して、米や野菜を貯蔵しておくのである。この雪室で食料を保存すると、温度・湿度が一定のため、おいしさが増す。5年生の時に雪室を見学し、今年度はその雪室で保存した雪室そば粉の商品パッケージに勝山の魅力をデザインし、商品化することで地域活性化を図ろうと取り組んだ。また、環境保全活動として、校区に多く生息するセイタカアワダチソウ駆除活動も行い、環境保全活動を呼びかけている。

【雪室そばのパッケージデザインづくり】地域おこし協力隊でグラフィックデザイナーの橋島康祐さんとハングオーバープレートの山埼瑠美さんにご指導いただきながら、勝山市の雪室ブランド推進協議会へアイデアを提言した。完成した雪室そばを道の駅などで販売した。

【雪室そばメニュー】勝山の魅力を詰め込んだ雪室そばメニューを考案し、校区の「福彩り食堂のむら屋」店長にスライドでプレゼンし提言した。雪室ブランド推進協議会でもスライドで提言。

【CM で魅力を発信】発見した魅力を CM にするため、地域おこし協力隊で映像クリエイターの成東 国体さんと AB10 の木村真奈美さんにご指導いただきながら CM を制作。

【セイタカアワダチソウ駆除活動】5年生とセイタカアワダチソウ駆除活動を実施し、環境保全への啓蒙をチラシにして喚起。

- 3. 年間活動実績(12月以降の予定を含む)
- 2月…グラフィックデザイナーの方から魅力発信の方法を学ぶ。
- 3月…雪室そばのパッケージデザインをグループで計画。雪室ブランド推進協議会に取り組みを 発信。
- 4月…パッケージデザインの修正と、そのデザインテーマを盛り込んだ雪室そばメニューを考案
- 5月…雪室そばメニューを「副彩り食堂のむら屋」店長にプレゼン
- 6月・・・・雪室そばパッケージデザインの最終調整をグラフィックデザイナーからのアドバイスを もとに行う。
- 7月…雪室そばパッケージデザイン完成。雪室そばを製造する橋詰製粉所の社長から完成した商品を披露。

雪室そばメニュー「雪室ダイナそば」期間限定販売決定、夏休みの間販売される。

- ※グラフィックデザイナーが、児童考案した雪室そばパッケージを本校の卒業生でありメダリストの三屋裕子さんに提供してくださった(昨年度三屋裕子さんを題材にした道徳授業でメッセージ動画をいただいたこともあり、児童を応援してくださっている)
- 9月…発見した魅力を CM にして発信するため映像クリエイターからノウハウを学ぶ。
- 10月・・・CM のための絵コンテづくりについて、アドバイスをいただきながら制作。撮影もアドバイスをいただきながら行う。
- 11月・・・CM の最終編集を行い、完成。
- 今後…雪室そばや CM の有効な発信方法などを地域おこし協力隊の方と共に検討し、実施する。